

令和7年6月3日

令和7年度 第1回岡山県健康の森学園支援学校 学校運営協議会【議事録】

令和7年5月26日(月) 10:00~11:50 会議研修室

進行:上野副校長

記録:杉山

1 校長挨拶(定久校長)

全校生徒60名(内 寄宿舎53名)で今年度スタートした。遠方より自力通学を行っている生徒もいる。今年度も、新しい取り組みにチャレンジしていきたい。教育活動が充実していくために、忌憚のない意見、ご助言をいただきたい。

2 委員・学校職員紹介

・自己紹介(岩上委員、小川委員、長谷川委員、若林委員 4名欠席)

3 本校学校運営協議会会長、副会長の承認

・本部より会長に岡本委員、副会長に名越委員、定久校長を推薦の提案 → 委員より承認を得る。

岡本会長挨拶

・2年間の学校運営協議会の活動により、教育活動が充実してきたと感じている。職員も校内に限らず、地域貢献をいろんな場面で実施し、地域とのつながりも深まってきた。

4 校内見学(集合写真を撮影後、3グループに分かれて見学)

1グループ【岡本、定久、田邊眞、田邊由】

案内:實村、榊原、鈴井

2グループ【赤木、千種、名越】

案内:上野、山崎、杉山

3グループ【田中、宮崎、山田】

案内:大倉、上田、田野

5 議 事 進行:岡本委員長

(1) 学校経営に係る基本方針等について(定久校長)

・学校経営目標、今年度の重点について説明。昨年度の4つの特色を生かした教育の充実に、「地域とのつながり」を加え、5つの特色を生かしたオンリーワンの教育の充実を図る。

・今年度、新たなプロジェクトとして、学・福・農連携では、施設、地元企業等と連携し、新製品の開発を行っていく。また、広大な自然を生かした多様な体験活動では、自然を生かした教育活動を行うためのヒント、アイデアをいただきたい。

・オンリーワン教育の充実のために、「同僚性を高める」「地域人材・地域資源を活用した教育活動」新見市内の小中高大と連携し、「センター機能の発揮」などに特に力を入れていきたい。

・児童生徒数の推移について、全校生徒60名。小学部児童数、中学部生徒数が増加している。県外からの見学希望者もあり、寄宿舎との連携した教育活動が行える魅力を発信していく。

(田邊眞委員) 高等部の生徒数が減少しているのは、何か原因があるのだろうか。

(定久校長) 数年、小中学部に入学する児童生徒数が0名の時があり、その学年が現在、高等部の学年になっている。中学部から上がってきた生徒がいなかったことも要因だと思う。

(2) 事務局からの報告

①地域連携室による学校教育活動について(上野副校長)

・昨年度、20事例の活動を行った。自転車点検、自然観察会講師、作業学習教材支援などのボランティア活動を行うことができた。

②昨年度末の協議内容のまとめ本年度の取組について(上野副校長)

- ・学校自己評価 ⇒ 回答項目の「わからない」をなくす。
- ・地域ボランティアの充実 ⇒ ボランティア登録数を増やす。
- ・教育内容・交流 ⇒ 交流活動を充実させていきたい。
- ・企業と学校が連携してできること ⇒ 企業とのコラボ商品の開発、企業からの学校見学、メディアへの紹介を行っていく。

③「森のおみせ」より(地域連携:杉山)

もりんクッキー、オリジナルマスキングテープ販売についての説明。今後も、新商品開発への助言をいただきたい。

(3) 協議及び意見交換

(大倉高教頭)「森のみそ」の販売について、気候の変化によって大豆の収穫が減少し、商品数の確保が難しくなっている。伝統の商品を継続していくか思案している。新商品として、クッキー、ケーキ作りなどを考えている。健康の森学園で生産した森のたまご、野菜を使った新商品ができないか考えている。そのほか、シイタケを使ったアイスクリーム、ジャム、干し芋などの加工品、ブルーベリーを使った商品など考えている。多くのアイデアをいただきながら、商品開発につなげていきたい。

(宮崎委員)みその販売は、年々、難しくなっていくと思う。いちご狩りがよいのではないか。余ったものは、加工品として使用できるし、いちご狩りに来た時に、シイタケや森のたまごも購入してもらえ。

(山崎主幹)健康の森の自然を生かした教育活動でベンチ作り、オブジェづくりを考えている。自然の中に芸術を取り入れる、「自然の中での対話型研修」を専門家を招いて行う予定。

(榊原小教務)ツリーハウスなどの大きなものも挑戦してみたいが、管理や維持が課題である。

(宮崎委員)3年後に「森の芸術祭」が開催される予定。健康の森も会場の一つになると、盛り上がるのではないかと。

(榊原小教務)現在は、落ち葉や木の枝を使った作品づくりを行うなどの学習活動を行っているが、研修をヒントにし、学習活動の幅を広げていきたい。

6 諸連絡

(鈴木総括教務より)

校内ルール(資料p4)、いじめ防止基本方針並びに年間計画(p5~)、学校運営協議会の設置等に関する規則(p7~9)、行事予定(p11~12)を説明。

今後の学校運営協議会の予定

- ・第2回学校運営協議会 令和7年10月28日(月)10:00~
- ・第3回学校運営協議会 令和8年2月9日(月)10:00~

7 閉会挨拶(名越副委員長)

行事を実施するたびに子どもが成長している。保護者の立場として、経験を重ねることが大切であり、経験を糧に子どもが成長する姿を見ることを嬉しく思う。今後、子どもたちがたくさんの経験ができるよう、委員の皆様方のご意見をいただきながら取組を行っていきたい。